

令和元年11月30日

第27回 漢方家庭医講習会@札幌

漢方家庭医が知っておきたい 補剤の使い方



Chiba Central Medical Center

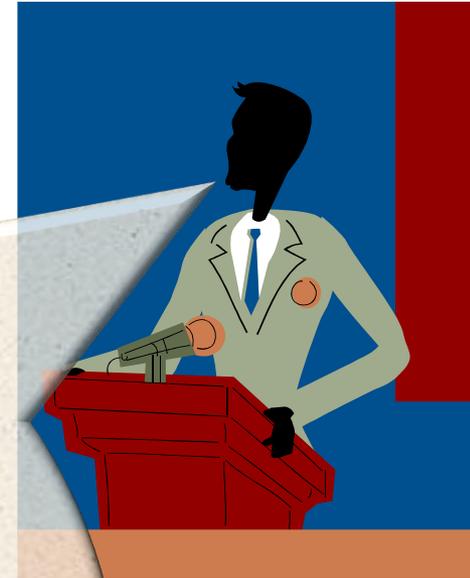
千葉中央メディカルセンター

和漢診療科 地野 充時

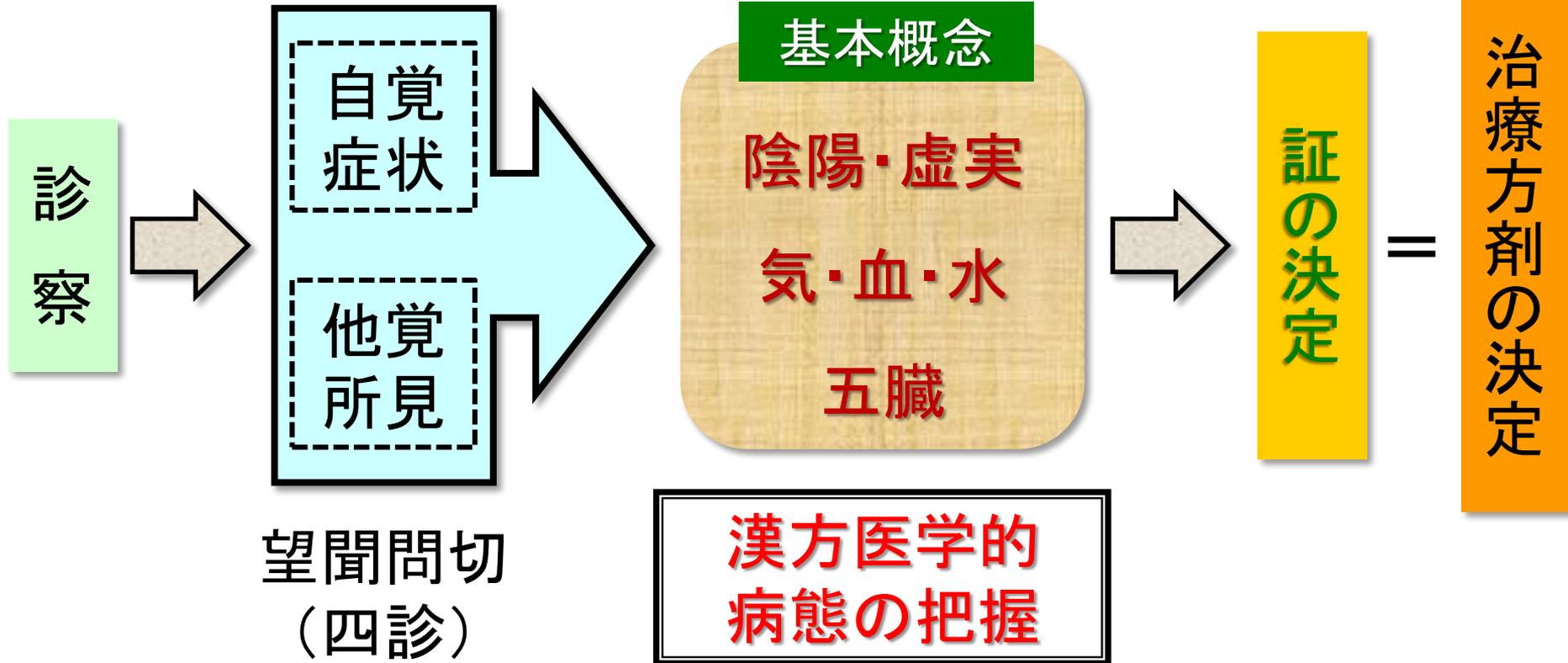
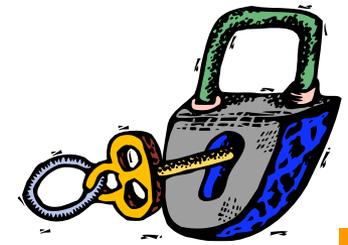
石垣島

お話する内容(17:10-18:40)

- (1) 漢方診療の実際
- (2) 補剤とは？
- (3) 気血水の失調に対する補剤の使い方
- (4) 五臓の失調に対する補剤の使い方
- (5) 補剤と高齢者

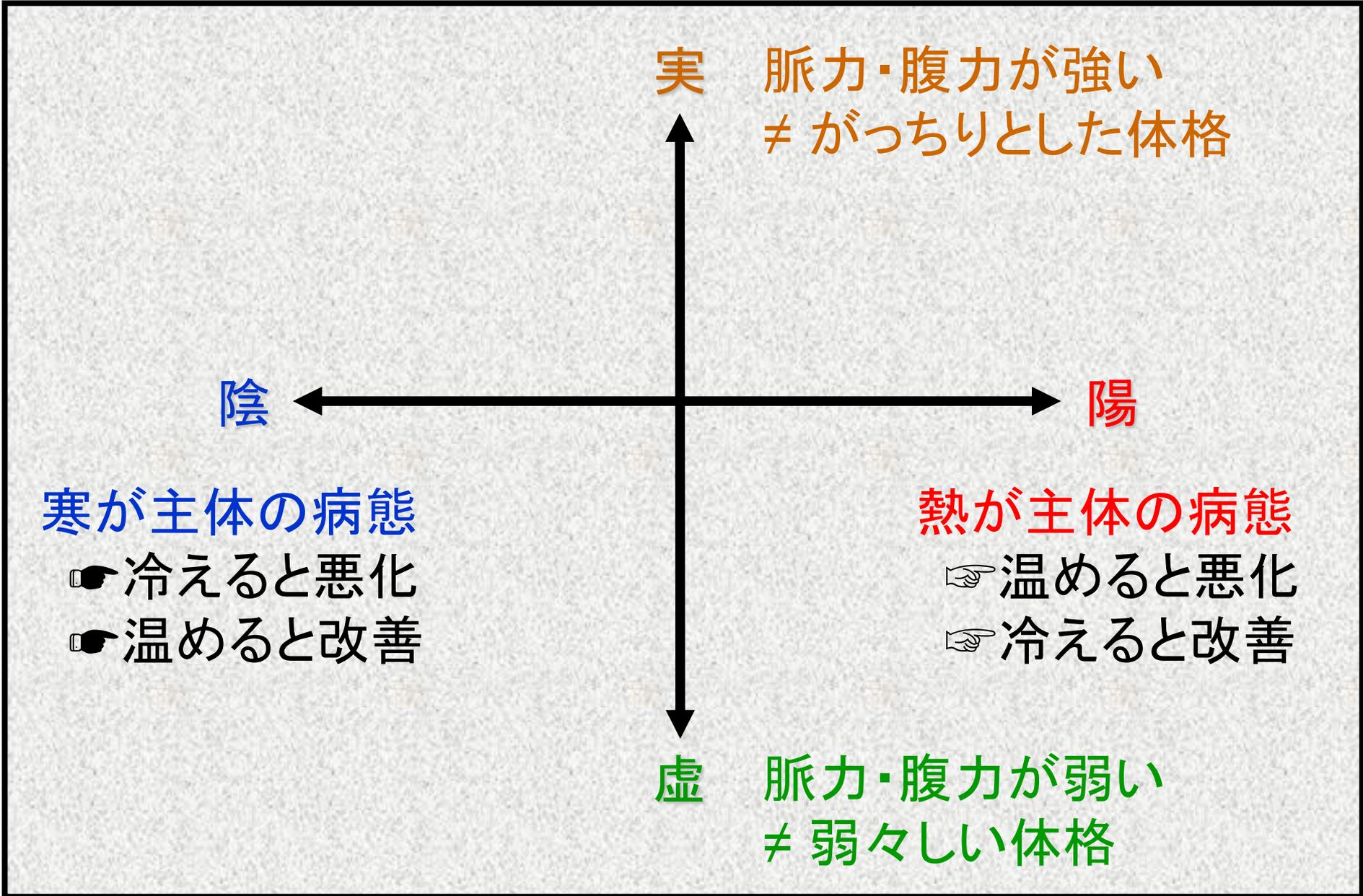


漢方診療の流れ

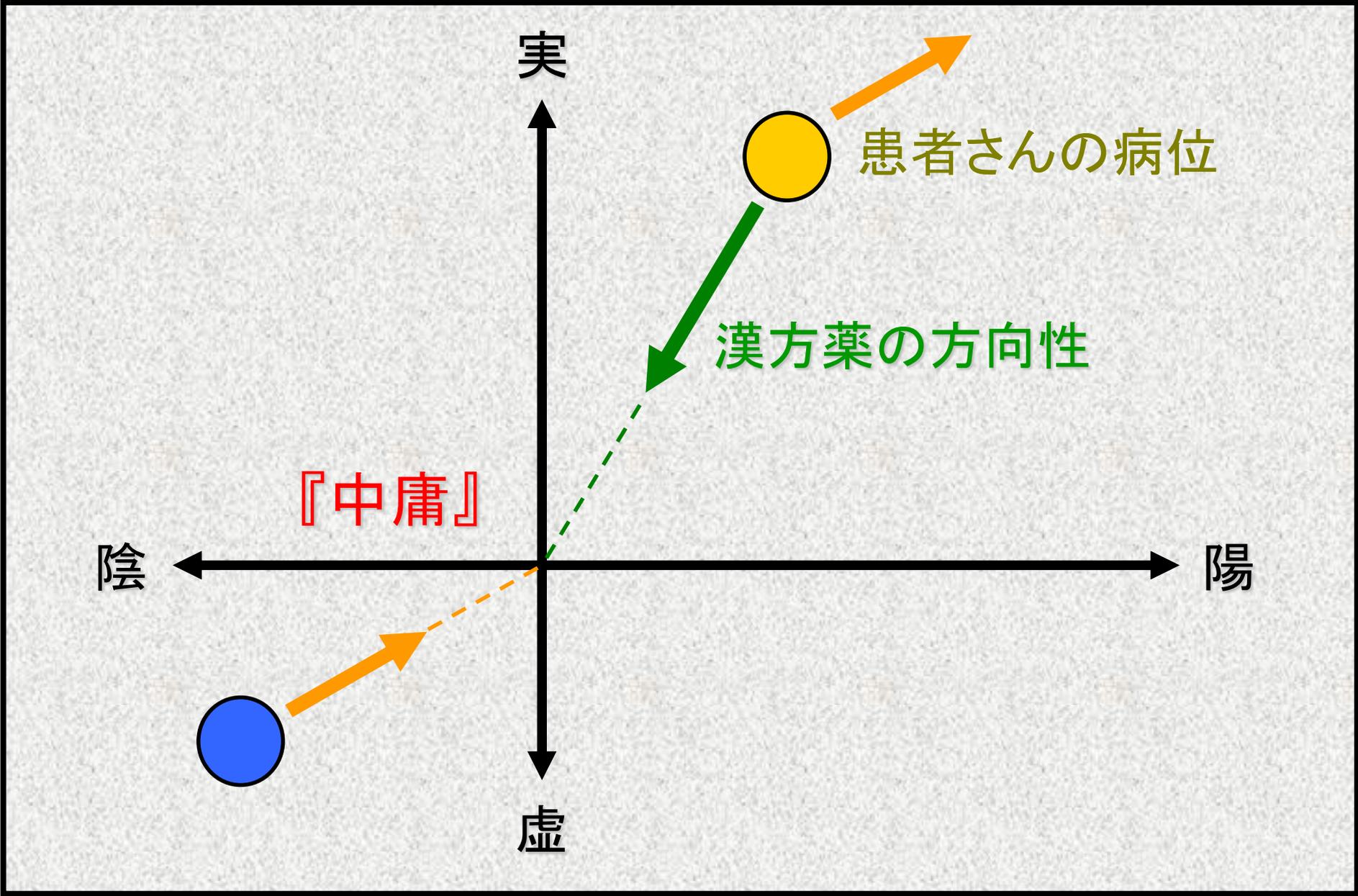


証(漢方医学的診断)に随って治療を行う
= 随証治療

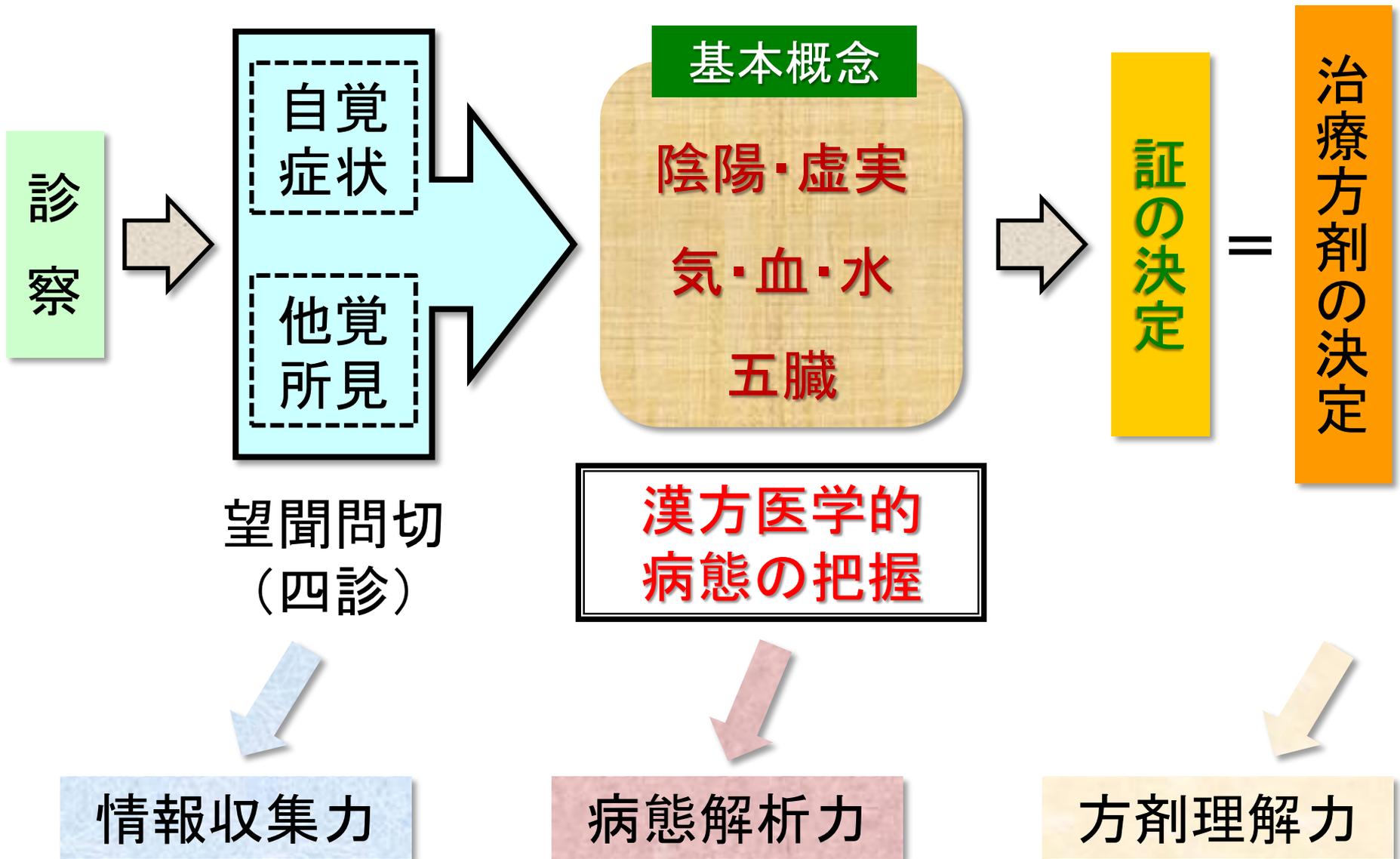
患者さんを陰陽虚実で分類する



陰陽虚実と漢方薬

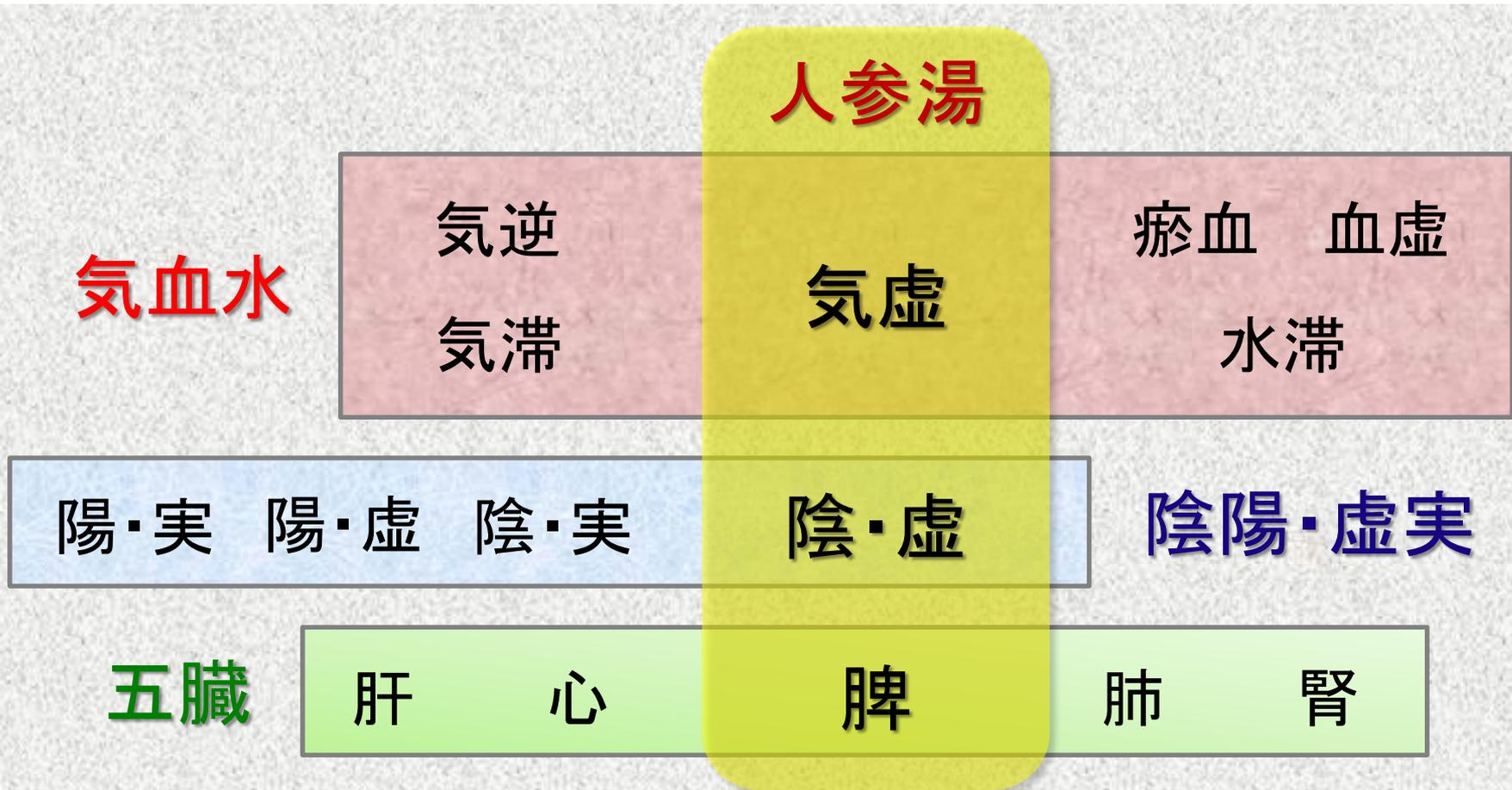


漢方診療を行うためには



方剤理解力とは？

使用される病態を和漢診療学的に理解する



これに加えて、方剤に特徴的な症状・所見を覚える

人参，乾姜，甘草，蒼朮。

〔禁忌〕

- 1) アルドステロン症。
- 2) ミオパチー。
- 3) 低K血症。

〔目標〕 比較的体力の低下した冷え性の人で，食欲不振，胃部停滞感，下痢等，胃腸機能が低下している場合に用いる。

- 1) 胃腸虚弱，倦怠感，尿が希薄で量が多い，口中に薄い唾液がたまる等の症状を伴う場合。
- 2) 腹部が軟弱無力で振水音のある場合。

〔適応〕 体質虚弱の人，あるいは虚弱により体力低下した人の次の諸症：急性・慢性胃腸カタル，胃アトニー症，胃拡張，悪阻，萎縮腎(以上ツムラのみ適応承認)。手足等が冷えやすく，尿量が多いものの次の諸症：胃腸虚弱，胃アトニー，下痢，嘔吐，胃痛(以上クラシエのみ適応承認)。

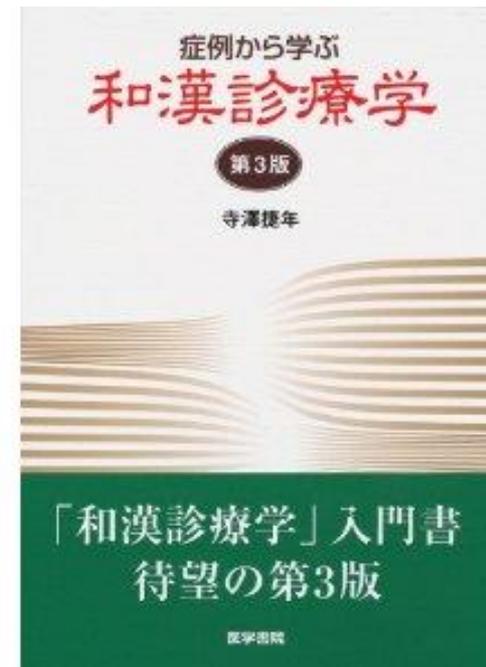
〔相互〕 フロセミド，エタクリン酸，サイアザイド系利尿薬→血清K値の低下。

〔病態〕 太陰病期・心下痞鞭型，虚証。

脾が寒に侵され機能不全に陥った病態。他覚所見としては舌は淡白紅でやや腫大し，湿潤した白苔がある。腹力は軟弱で，明らかな心下痞鞭があり，ときに胃部振水音をみる。気虚に軽度の気鬱があり，胸内苦悶感を現すことがある。

〔鑑別〕

- 1) 安中散：体力中等度以下，心窩部痛。腹中雷鳴はない。
- 2) 真武湯：体力低下，全身倦怠，悪寒，下痢，浮腫，足腰の冷え。
- 3) 桂枝人参湯：体力低下，胃腸虚弱，下痢，頭痛，冷え性。
- 4) 茯苓飲：体力中等度以下，胃部振水音，動悸，尿量減少。



寺澤捷年著：
症例から学ぶ和漢診療学
医学書院(1990)

臨床医による問題解決のプロセス



(1) 直感的診断: 複数のkeywordsの組み合わせ

(2) 推論による診断

仮説形成: 鑑別診断のリストを作成

↳ 仮説検証: 情報を収集し仮説を検証

* 各疾患についての十分な知識が必要

漢方専門医による処方決定のプロセス



(1) 直感的診断: 複数のkeywordsの組み合わせ = 口訣

(2) 推論による診断

仮説形成: 鑑別処方^紅のリストを作成

↳ 仮説検証: 情報を収集し仮説を検証

* 各処方^紅についての十分な知識が必要

最初に勉強すべき処方

太陽病期：麻黄湯*・葛根湯*・桂枝湯*・小青龍湯*

少陽病期：大柴胡湯*・柴胡加龍骨牡蛎湯*・四逆散

小柴胡湯*・柴胡桂枝湯*・柴胡桂枝乾姜湯*

半夏瀉心湯*・苓桂朮甘湯*・五苓散*・越婢加朮湯

麦門冬湯・半夏厚朴湯*・桂枝加龍骨牡蛎湯

桂枝茯苓丸*・(加味逍遙散*)・小半夏加茯苓湯*

陽明病期：猪苓湯*・桃核承氣湯*・大黄牡丹皮湯*

太陰病期：小建中湯*・大建中湯・人参湯*・吳茱萸湯*

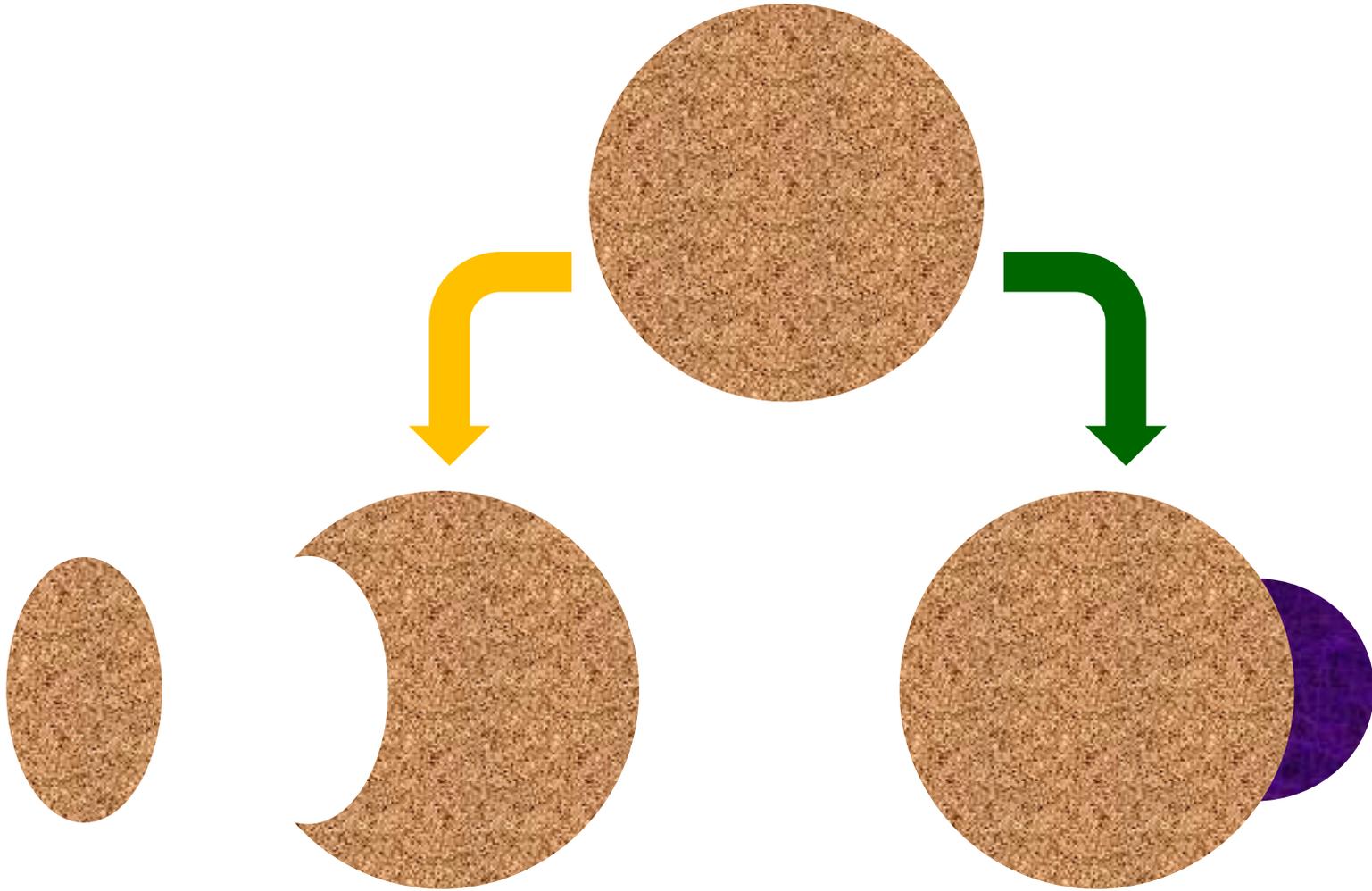
八味地黄丸・芍藥甘草湯*

当歸芍藥散*・当歸四逆加吳茱萸生姜湯

少陰病期：麻黄附子細辛湯・真武湯*

* 藤平健・小倉重成共著『漢方概論』で最初に勉強すべき方剤として挙げられている処方

補法と瀉法



補法：足りないものを補う

瀉法：余分なものを除去する

補剤と瀉剤

瀉剤(瀉法): 病理的産物の除去

☞ 瀉下剤

☞ 駆瘀血剤

☞ 清熱剤

☆ 抗癌剤・抗生剤による治療
や手術も瀉法と考えてよい

補剤(補法): 抗病反応の賦活

☞ 補気剤(気虚)

☞ 補腎剤(腎虚)

☞ 補血剤(血虚)



補剤の分類

(1) 気の不足を補う

先天の気を補う: 腎気丸類 ⇒ 八味丸

後天の気を補う: 人参剤 ⇒ 人参湯、六君子湯

参耆剤 ⇒ 補中益気湯

桂枝湯類 ⇒ 小建中湯

(2) 血の不足を補う ⇒ 四物湯

(3) 気と血の不足を補う

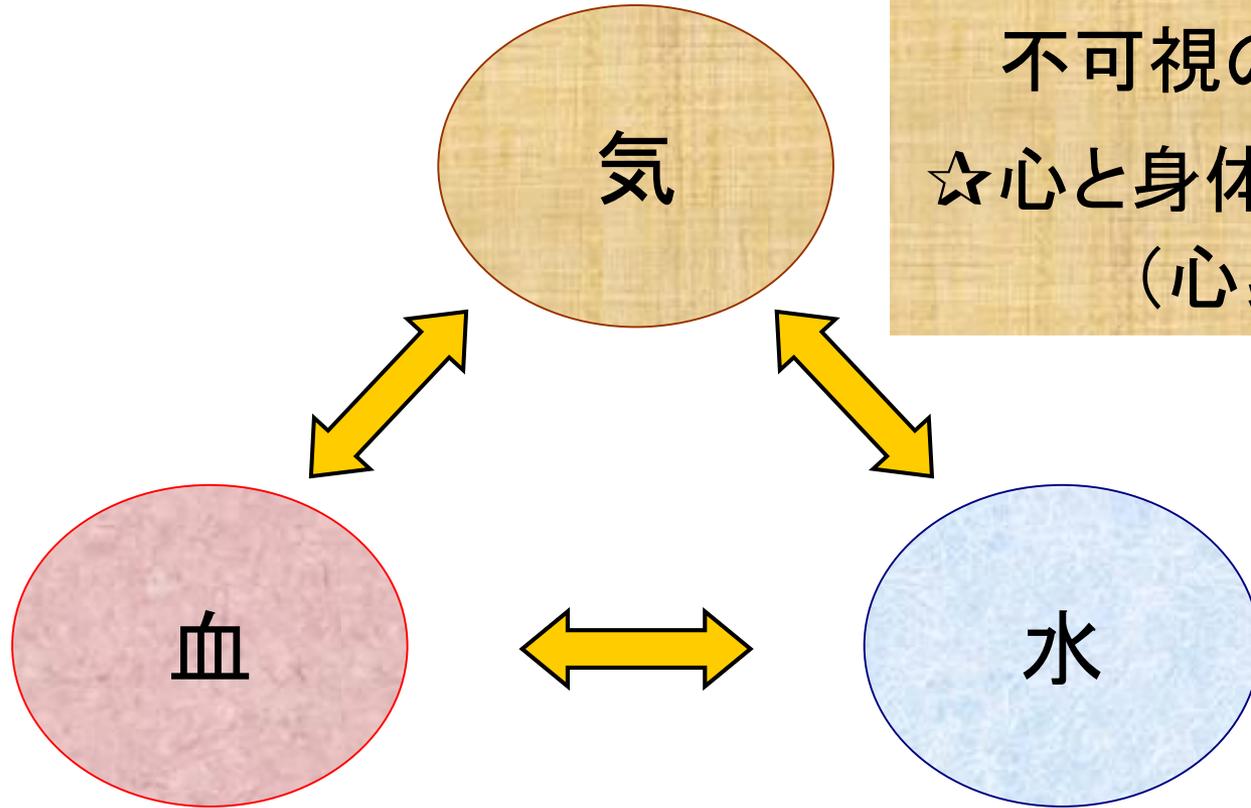
⇒ 十全大補湯・人参養栄湯・大防風湯

(4) 水(津液、陰液)の不足を補う

生脈散(人参・麦門冬・五味子) ⇒ 清暑益気湯

気血水とは？

生体を維持する三要素



- ☆生命体を維持する
不可視のエネルギー
- ☆心と身体を統御
(心身一如)

生体を物質的に
支える赤色の液体

生体を物質的に
支える無色の液体

気血水論による病態認識

気虚：気の量の不足

気逆：気の偏在、上逆

気滞（気鬱）：気の滞り

血虚：血の量の不足

瘀血：血の滞り

水滞：水の偏在と滞り

気虚の症状および所見

自覚症状

- 身体がだるい
- 気力がない
- 疲れやすい
- 食べると眠くなる
- 下痢傾向



他覚所見

- ☯ 脈診：
脈の力が弱い
- ☯ 腹診：
腹の力が弱い
- ☯ 舌診：
淡白紅・腫大 地図状舌



症例：48歳・女性

主訴

疲れやすい、食欲不振、胃もたれ、手足の冷え

現病歴

40歳頃に不安神経症と診断され、心療内科で治療を開始。

46歳頃に鬱状態となり、食事も出来ない状況が3ヶ月続いた。

近医にて柴胡桂枝乾姜湯エキスが処方され、食欲不振やイライラ感はやや改善したが、血圧上昇、血清K低下の副作用が出現したため、2005年6月に内服を中止した。

その後、再び、疲れやすい、食欲不振、胃もたれ、手足の冷えが出現してきたため、同年10月19日、和漢薬治療目的で千葉大学柏の葉診療所を受診となった。

初診時の症状・所見

自覚症状

身体がだるい 疲れやすい 風邪を引きやすい
日中の眠気 食欲不振 下痢傾向 四肢の冷え
頭が重い めまい 車酔いしやすい

他覚所見

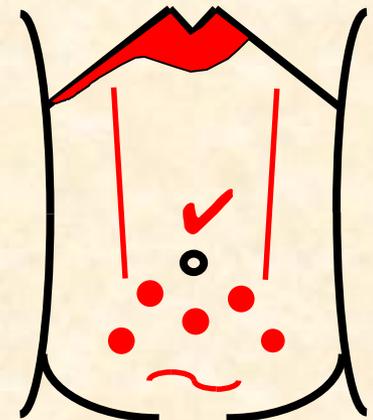
身長 169 cm 体重 51 kg 体温 36.4°C
血圧 124/62 mmHg 脈拍 77/分・整

脈候 沈 数 虚

腹候

舌候 やや暗赤色 腫大・歯痕
乾湿中等度の微白苔

腹力
3/V



六君子湯の薬理作用

六君子湯には5つの作用があり、幅広い胃の症状を改善します。

**グレリン低下
改善作用¹⁾**

食欲不振の改善。

**胃排出能
促進作用²⁾**

消化したものを腸に送り出す働き。

**食道クリアランス
改善作用³⁾**

胃酸の停滞をおさえる。

**胃貯留能
改善作用⁴⁾**

食べたものを受け入れる働き。

**胃粘膜
防御作用⁵⁾**

胃酸から胃の粘膜を守る働き。

1)武田宏司: 米国消化器病週間(DDW2006)

3)川原央好: Prog. Med., 2006,26(12)p. 3228

5)L. Kurose, et al.: Pathophysiology, 1995,2, p.153

2)T. Kido, et al.: Pharmacol. Sci.,2005, 98,p. 161

4)T. Hayakawa, et, al.: Drugs Exptl. Clin. Res., 1999,25(5)p. 211

六君子湯

比較的体力の低下した人が胃腸機能が低下して、食欲不振、心下部の膨満感などを訴える場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、手足の冷えなどを伴う場合
- 2) 腹壁の緊張が弱く、心窩部に振水音を認める場合

人参 甘草
生姜 大棗

☞ 脾胃の機能を高め
気を生成する

茯苓 朮

☞ 水の代謝を改善する

陳皮 半夏

☞ 気の滞りを改善する

六君子湯の方意

気血水

気逆

六君子湯
気虚・気滞
水滞

瘀血 血虚

陽・実 陽・虚 陰・実

陰・虚

陰陽・虚実

五臓

肝

心

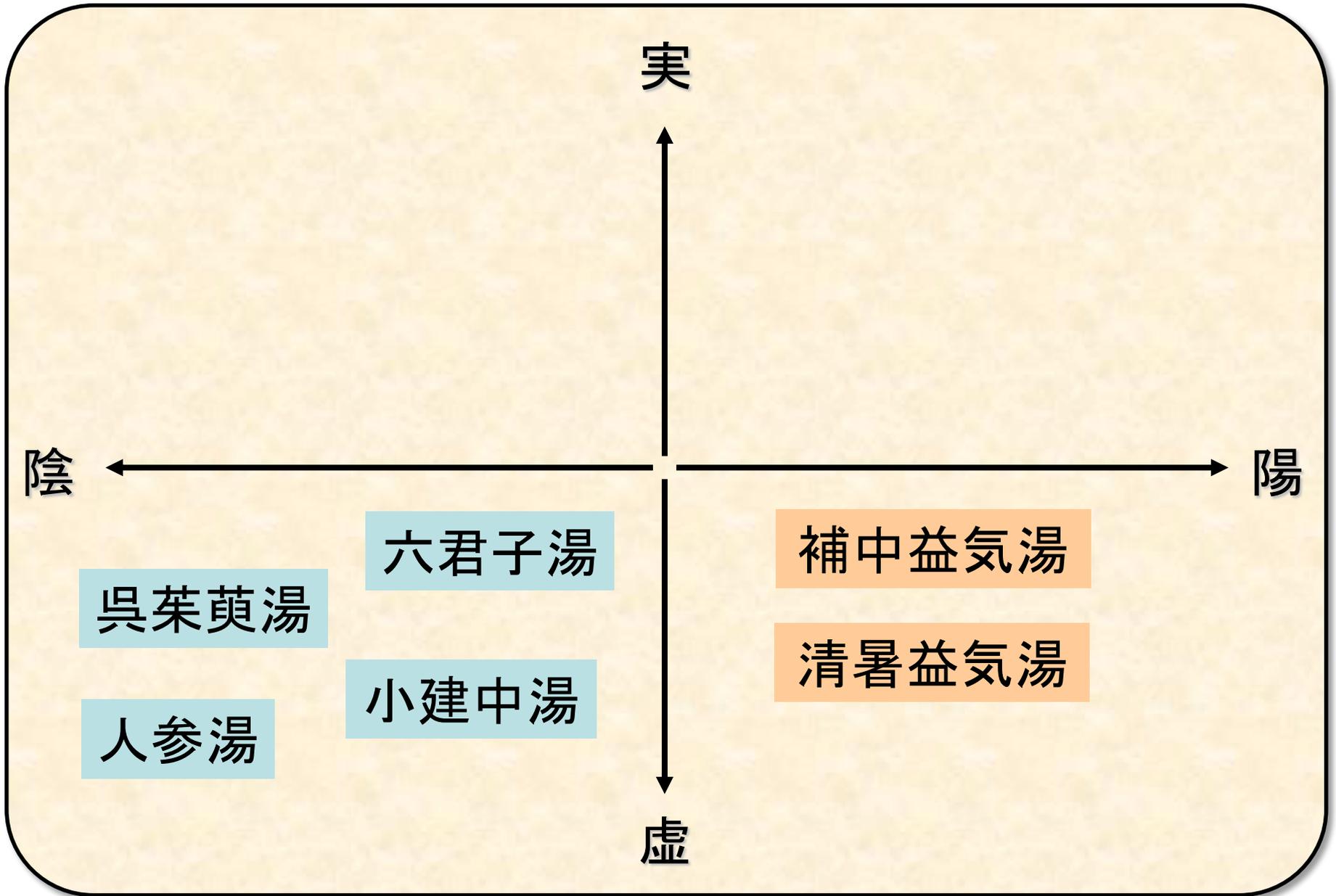
脾

肺

腎

脾の機能低下による気虚と気滞・水滞があり、
陰証で虚証の病態に使用する

気虚に用いられる代表的方剤



血虚の症状および所見

自覚症状

- 皮膚乾燥・荒れ
- 髪の毛が抜けやすい
- 爪の異常
- 知覚異常
- 集中力低下
- こむらがえり
- 顔色不良
- 眼精疲労

他覚所見

- ☞ dry skin、皮疹
爪のひび割れ
知覚の低下
- ☯ 腹診：
腹直筋攣急



四物湯

當歸



- ☞ 調經作用
- ☞ 補血作用
- ☞ 止痛作用
- ☞ 潤腸作用

芍藥



- ☞ 補血作用
- ☞ 止痛作用

川芎



- ☞ 活血作用
- ☞ 止痛作用

地黃



- ☞ 補血作用
- ☞ 止血作用

四物湯の加減方

陰証に用いる

- ☞ 芎帰膠艾湯(虚)
- ☞ 当帰飲子(虚)
- ☞ 十全大補湯(虚)
- ☞ 大防風湯(虚)
- ☞ 人参養栄湯(虚)

陽証に用いる

- ☞ 柴胡清肝湯(実)
- ☞ 荊芥連翹湯(虚実間)
- ☞ 温清飲(虚実間)
- ☞ 七物降下湯(虚)
- ☞ 疎経活血湯(虚)

十全大補湯

病後・術後・慢性疾患などで疲労衰弱している場合に用いる。

- 1) 全身倦怠感、食欲不振、顔色不良、皮膚乾燥、貧血などを伴うことが多い
- 2) 盗汗、口内乾燥感などを伴う場合

人参 甘草
茯苓 朮

☞ 四君子湯
気虚の治療方剤

当帰 芍薬
川芎 地黄

☞ 四物湯
血虚の治療方剤

黄耆 桂皮

皮膚疾患に対する十全大補湯の応用(1)

思わず目を背けたくなるような、
一皮ズルツと剥げ局面の隆起がなく、
ドロツとしたびらん・落屑を伴うもので
疲弊した状態に用いる

花輪壽彦著『漢方診療のレッスン』

症例：73歳・男性

主訴

全身の皮疹・瘙痒

現病歴

2004年5月頃から手掌に皮疹が出現。近医皮膚科を受診しタバコが原因と言われ禁煙したが、改善なく治療を中断した。

その後、他の皮膚科も受診したが原因は不明と診断され、ステロイド軟膏等にて対症的に治療を受けていた。

皮疹が全身に拡大し、瘙痒も強くなってきたため、2005年8月24日千葉大学柏の葉診療所を受診した。

既往歴

特記すべきことなし

家族歴

母：高血圧 兄：脳梗塞

初診時の症状・所見

自覚症状

気分がすぐれない、イライラする
食欲不振、下痢傾向（便がすっきり出ない）
皮膚の乾燥と荒れ、爪がもろく割れやすい

他覚所見

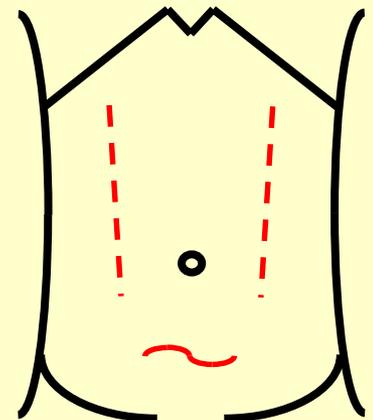
身長 156 cm 体重 42 kg 体温 36.5°C
血圧 117/80 mmHg 脈拍 112/分・整

脈候 浮沈中間 やや虚

腹候

舌候 暗赤色 亀裂あり
舌苔なし

腹力
やや弱



皮膚疾患に対する十全大補湯の応用(2)

十全大補湯は言うまでもなく「四君子湯＋四物湯＋桂枝・黄耆」で、「四物湯が十全にその機能が発揮できるように」組み合わせられている。

免疫調節や血を補うには四物湯がよいが、長期的な疲弊状態は四君子湯が必要であり、体表の化膿巣やびらんなどを解肌するには桂枝・黄耆が必要であろう。アトピー性皮膚炎で経過が長く、抗病反応が低下し、顔のように皮膚の弱いところが化膿、落屑、びらんしているものに特によい。

十全大補湯は下肢の化膿を伴ったアトピーにもよいし、頑固な陥入爪にもよい。**皮膚疾患にもっと使われてよい処方と考える。**
(花輪壽彦著『漢方診療のレッスン』)

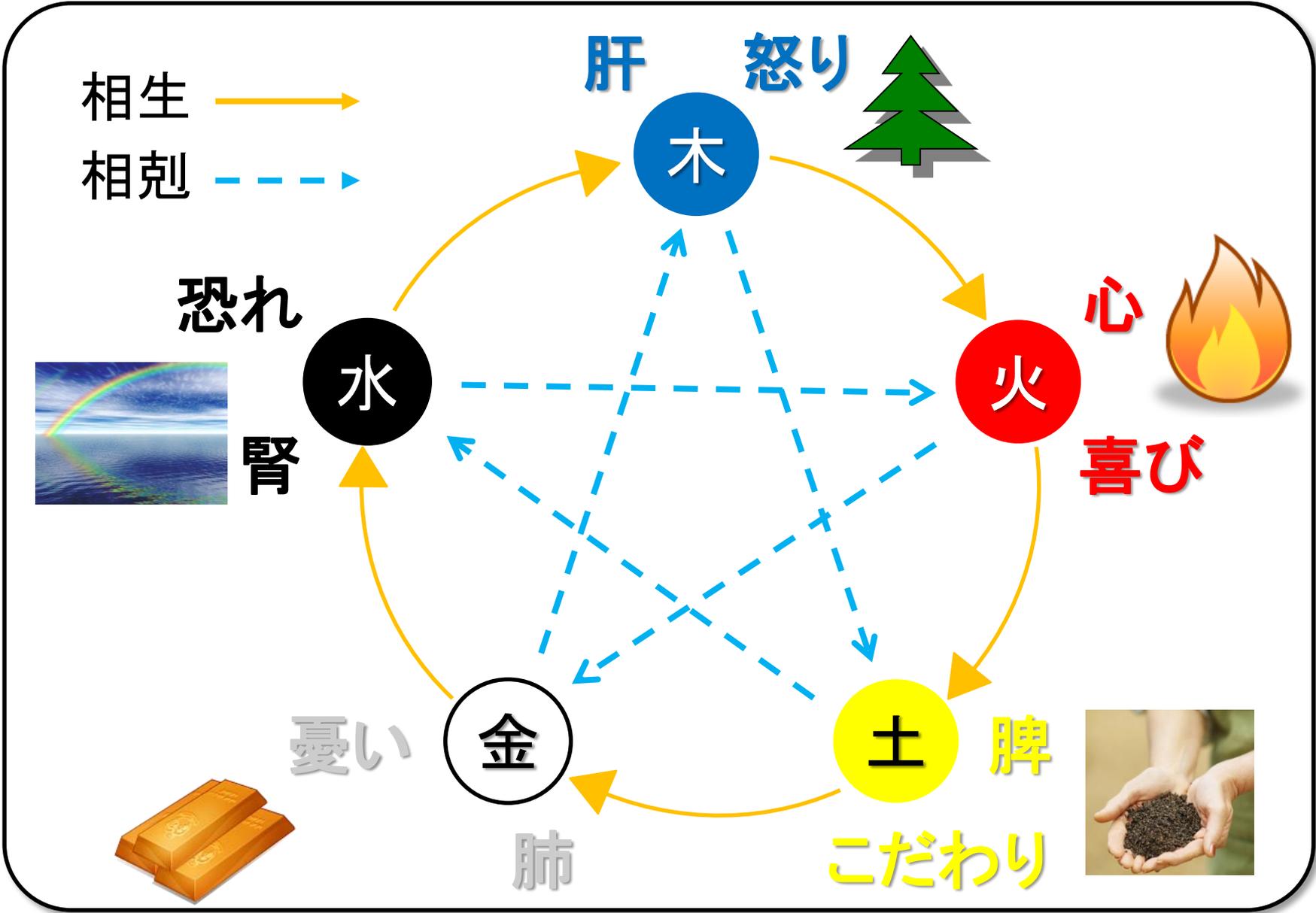
＊十全大補湯の適応症：病後の体力低下、疲労倦怠、
食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血

五行論とは？

- ➡ 古代中国の自然哲学の思想
- ➡ 日常生活と関連のある現象や物質を解釈するための方法論
- ➡ 木・火・土・金・水という5種類の基本的性格(要素)に分類
- ➡ 5種類の要素はお互いに影響する
- ➡ 医学経験も5種類の要素に分類し応用



相生と相剋



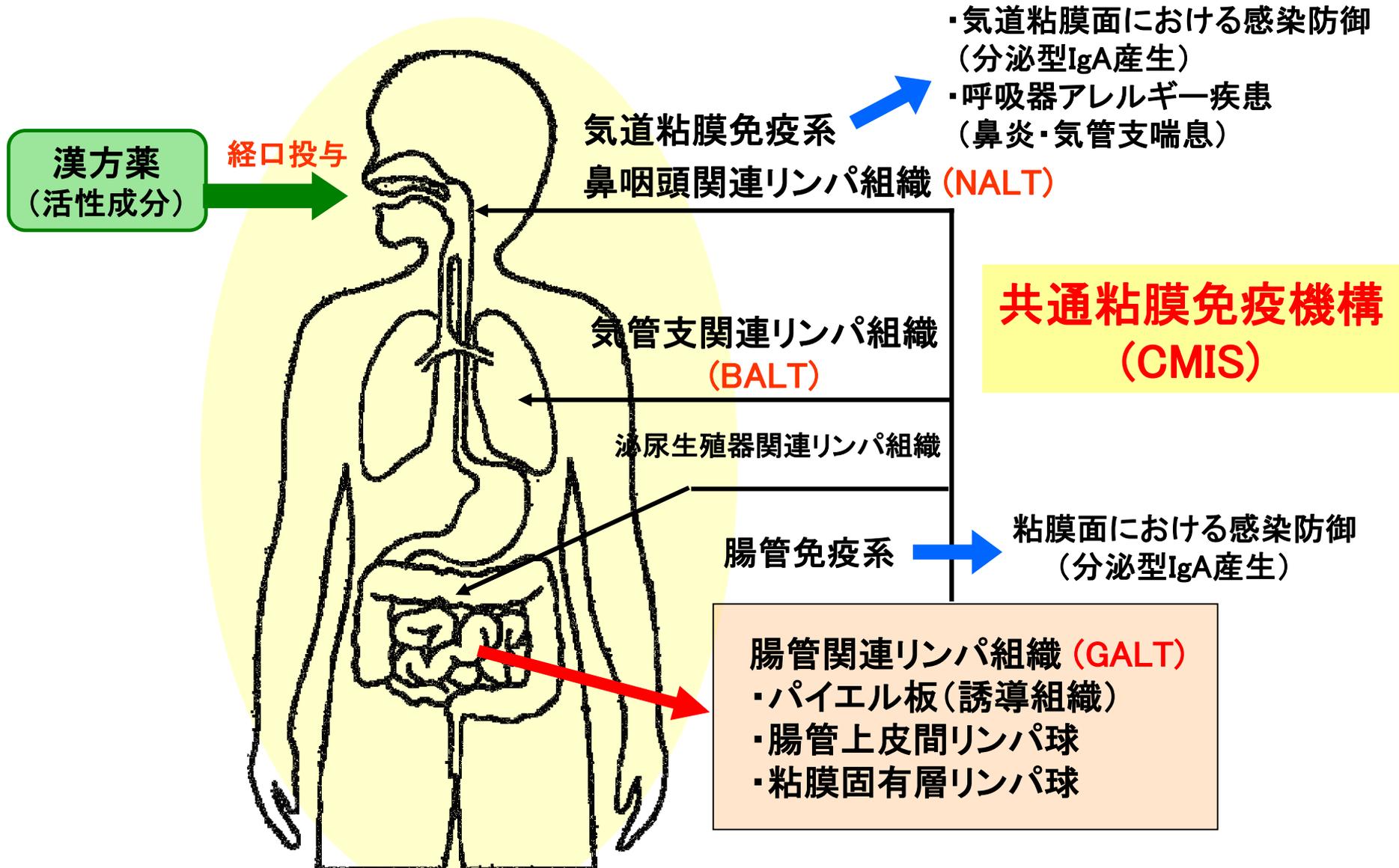
五臟色体表

五行	五臟	五腑	五色	五志	五主	五竅	五支	五味	五方
木	肝	胆	青	怒	筋	眼	爪	酸	東
火	心	小腸	赤	喜	血脈	舌	毛	苦	南
土	脾	胃	黃	思	肌肉	口	乳	甘	中央
金	肺	大腸	白	憂	皮毛	鼻	息	辛	西
水	腎	膀胱	黑	恐	骨髓	耳	髮	鹹	北

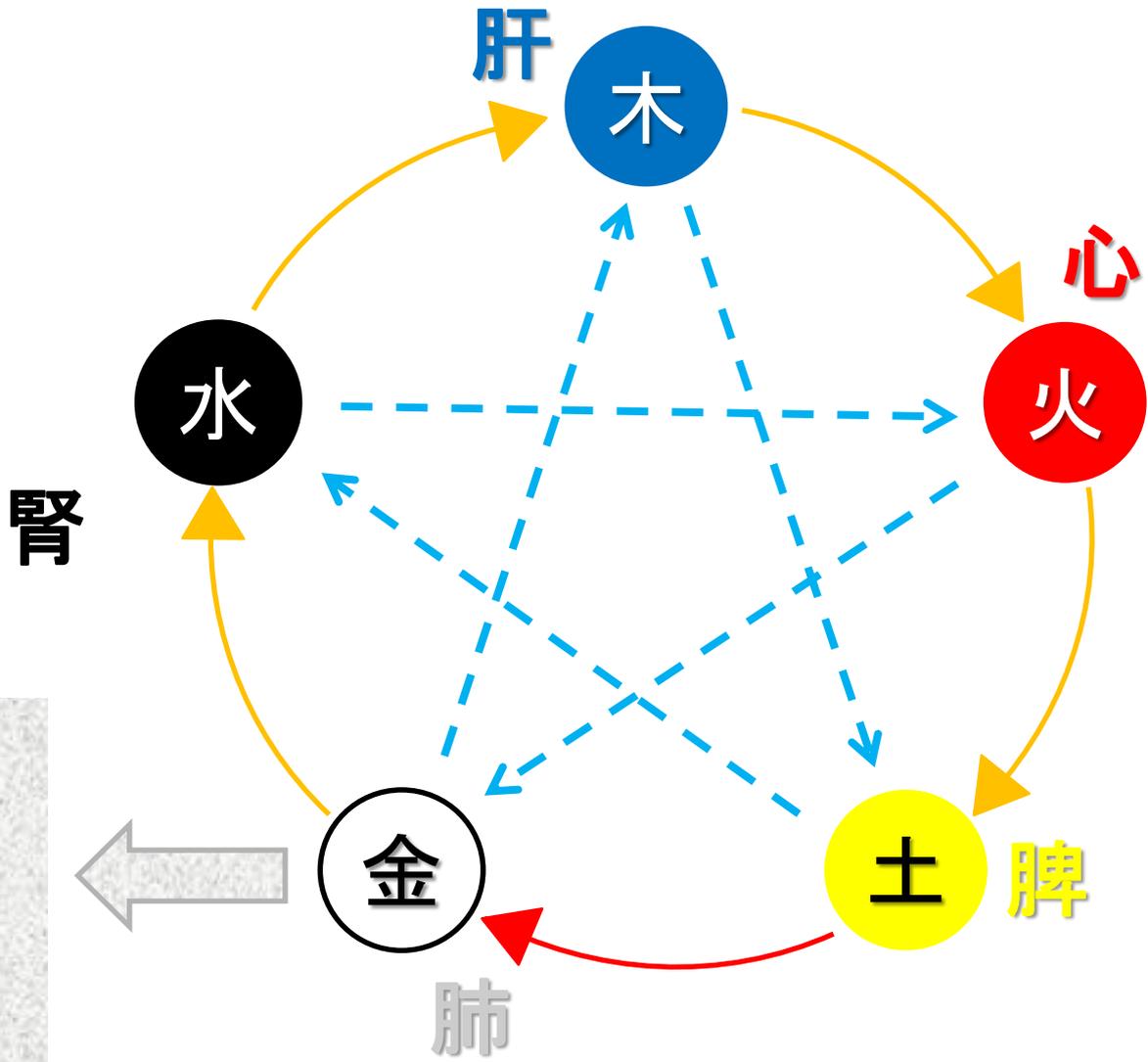
西洋と東洋における五臓

肝	精神活動の安定化 血の貯蔵、筋トーンスの調整	Liver (消化器)
心	意識・睡眠リズム 血の循環	Heart (循環器)
脾	消化吸収(気血水の生成) 筋肉の形成・維持 血管壁の正常機能維持	Spleen (免疫)
肺	呼吸、皮膚の機能維持 水の循環	Lung (呼吸器)
腎	成長・発育・生殖能 水分代謝、骨の形成・維持	Kidney (泌尿器)

粘膜免疫系と感染防御



脾は肺の母



黄耆建中湯

皮毛(皮膚)を司る「肺」の母である「脾」を補い、気を益す

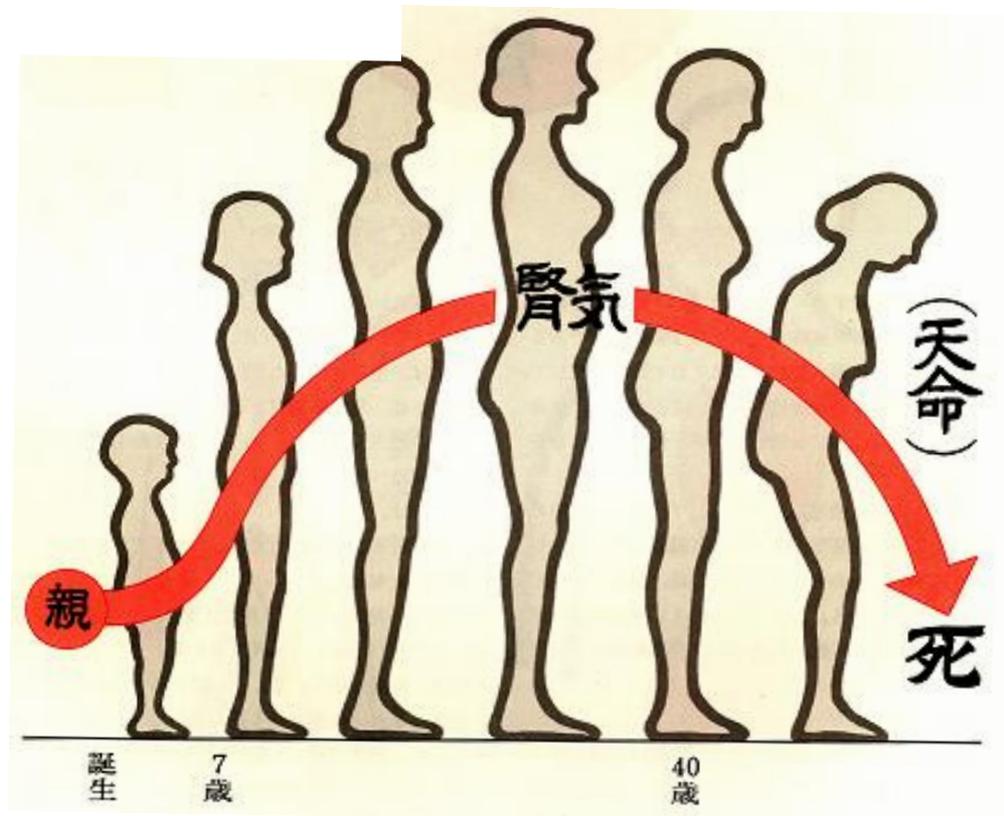


目標・適応

体力の低下した人で、疲労倦怠感が著しく、盗汗のある場合

- 1) 腹痛、食欲不振、息ぎれなどを伴う場合
- 2) 発疹、びらんなどの皮膚症状を伴う場合
- 3) 創傷治癒の遷延化や慢性化膿巣のある場合
- 4) 腹部は腹壁が薄く、腹直筋が緊張している場合

腎と成長発育



親から受け継いだ腎気は、生後は自らの生命活動
によって充実し、人間の成長・発育を調整する

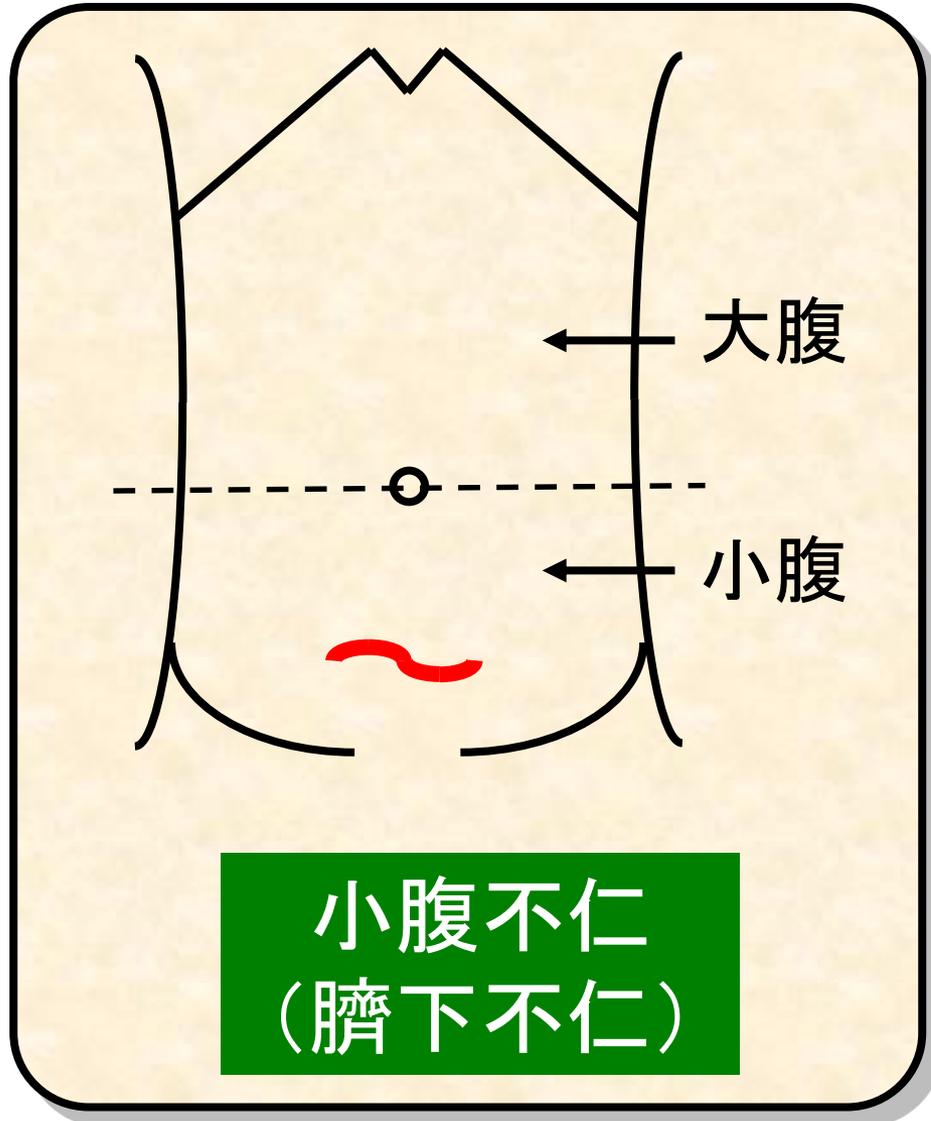
腎虚の症状



老朽化による能力の低下

- ★生殖能の低下
- ★姿勢保持能の低下
- ★排尿する能力の低下
- ★呼吸能の低下
- ★思考力・判断力の低下
- ★聴力・視力の低下

腎虚の腹候



『凡そ不仁は其処我身の
如く覚えざるものを云う、
又按ずるに皮薄く綿絮の
如く濡弱なるもの亦不仁』

(腹証奇覽)

- (1) 知覚鈍麻
- (2) 腹力低下

八味地黄丸

別名：八味丸、腎氣丸、八味腎氣丸



地黄



山藥



山茱萸



桂皮



牡丹皮



沢瀉



茯苓



附子

生薬の性質(薬性)

大熱

熱

温

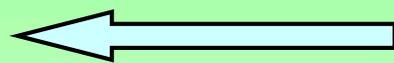
平

凉

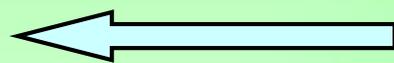
寒

大寒

附子



乾地黄



沢瀉

桂皮



山茱萸

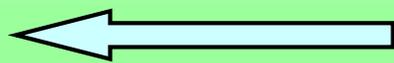


牡丹皮

山藥

茯苓

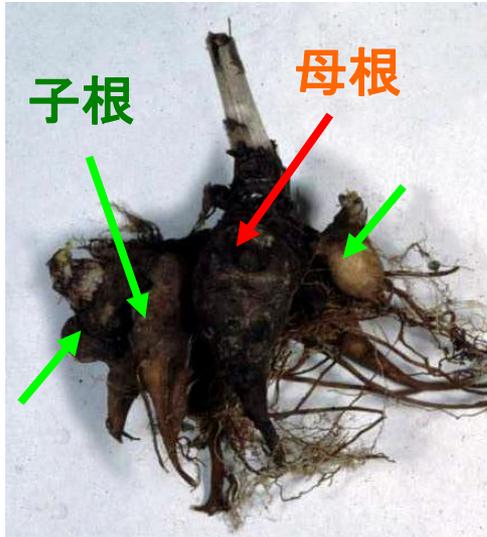
牛膝



車前子

トリカブト：附子・烏頭（2）

☆キンポウゲ科トリカブト属の母根および子根
（以前は母根を烏頭、子根を附子と呼んでいた）



☞ 烏頭：減毒処理をせず
乾燥させたもの

☞ 附子：減毒処理をしたもの

➤ 炮附子：加熱処理

➤ 白河附子：生石灰で処理

☞ 修治附子末：

高压蒸気処理の過程で、
末梢血流改善作用を有する
pyrrole誘導体が生成

トリカブト：附子・烏頭（3）

👉 成分：アルカロイド

＊アコニチン

＊メサコニチン

＊ヒパコニチン

アコニチンは加水分解によりベンゾイルアコニンからアコニンに変化し毒性が減じる

➤ 薬味薬性：

大辛・大熱

☯ 効能：

温熱・鎮痛・抗衰弱

★ 副作用：

(初期) しびれ感・酩酊

(中期) 悪心・嘔吐

(末期) 不整脈・筋痙攣

呼吸麻痺

修治附子末

- ➡ 附子を高压蒸気で加工(オートクレーブ)
- ➡ アコニチン → ベンゾイルアコニン → アコニン

陰の病態に用いる方剤と併用

十全大補湯、人参湯

当帰芍薬散、当帰四逆加呉茱萸生姜湯

八味地黄丸、牛車腎気丸

用量

1.5 g/日 → 漸増(1-2週間毎) → 6.0 g/日

八味丸の条文(金匱要略)

- ➡ 崔氏の八味丸、脚氣上って少腹に入り不仁するを治す。
(中風歴節病)
- ➡ 虚勞腰痛、少腹拘急し、小便不利するは八味腎気丸之を主る。
(血痺虚勞病)
- ➡ 夫れ短気、微飲あり、当に小便より之を去るべし、苓桂朮甘湯
之を主る。腎気丸も亦之を主る。
(痰飲咳嗽病)
- ➡ 男子の消渴、小便反って多く、飲むこと一斗なるを以って、
小便一斗なるは腎気丸之を主る。
(消渴小便利淋病)
- ➡ 問ふて曰く、婦人の病、飲食故の如く、煩熱、臥すを得ず、
而して反って倚息する者は何ぞや。師の曰く、此を転胞と
名づく。溺するを得ざるなり。胞系了戻するを以っての故に
此病を致す。但小便を利すれば則ち愈ゆ、腎気丸之を主る。
(婦人雜病)

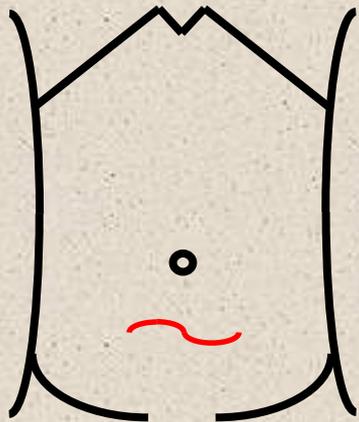
八味地黄丸を投与するときは

☆その1

腎虚を思わせるような症状がある
(老化に伴うと思われる症状)

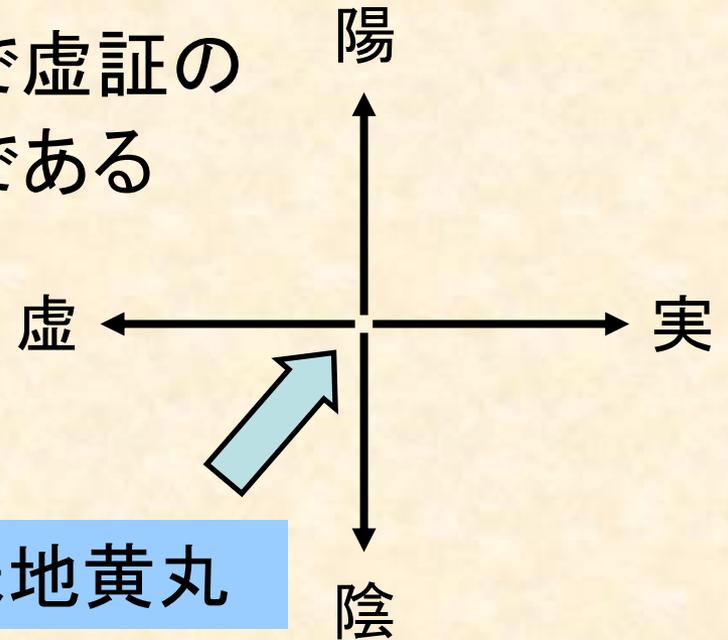
☆その2

小腹不仁がある



☆その3

陰証で虚証の
病態である



八味地黄丸

八味地黄丸証の概念を導入すると・・・



全身倦怠感
冷え症

眼のかすみ

腰痛

排尿困難

足の痺れ

腎虚

⇒八味地黄丸証

*八味地黄丸の適応症：腎炎、糖尿病、陰萎、坐骨神経痛、腰痛、脚気、膀胱カタル、前立腺肥大、高血圧

腰部脊柱管狭窄症の症例

症 例 73歳・男性

主 訴 腰部～臀部の痛み、両膝から下の痺れ

現病歴

1995年頃から、腰痛が出現。

2005年1月、某大学病院整形外科を受診し、MRIにて腰部脊柱管狭窄症と診断。プロスタグランジン製剤の注射・内服にて自覚症状は半減したものの、それ以上の改善が認められないため、和漢薬治療を希望し、2005年7月13日、千葉大学柏の葉診療所を受診した。

初診時の症状・所見

自覚症状

こむら返りがある しびれ 立ちくらみ 痔がある
痛み・痺れは温まると楽になる

他覚所見

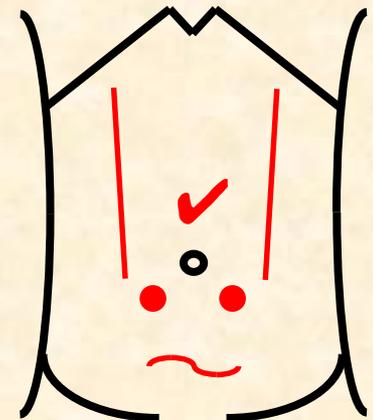
身長 165 cm 体重 55 kg 体温 36.0°C
血圧 111/77 mmHg 脈拍 81/分・整

脈候 やや沈 やや虚 弦

舌候 やや淡白 腫大あり
湿潤した白黄苔あり

腹候

腹力
2/V



下肢痙攣の症例

症例

82歳・女性

主訴

両足が攣る

現病歴

X年1月頃から、睡眠中に両下肢が毎晩攣るようになった。症状は増悪傾向であり、一晩に2-3回攣ることもある。ひどい時には昼間にも下肢痙攣が3-4回起きることもある。寝返りをしたり、トイレに行こうとすると症状が出現する。

和漢薬治療を希望し、X年9月当科受診。

既往歴・家族歴

特記すべきことなし

初診時の症状・所見

自覚症状

足が冷える 夜間尿:4-5回 排尿回数も多い

他覚所見

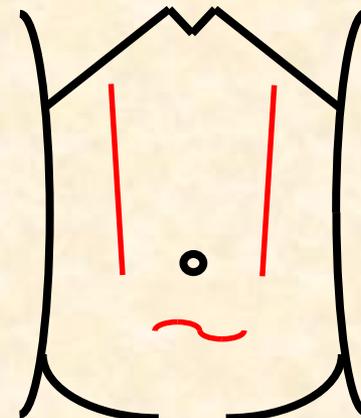
身長 150 cm 体重 42 kg 体温 36.0°C
血圧 134/68 mmHg 脈拍 67/分・整

脈候 やや浮
やや虚

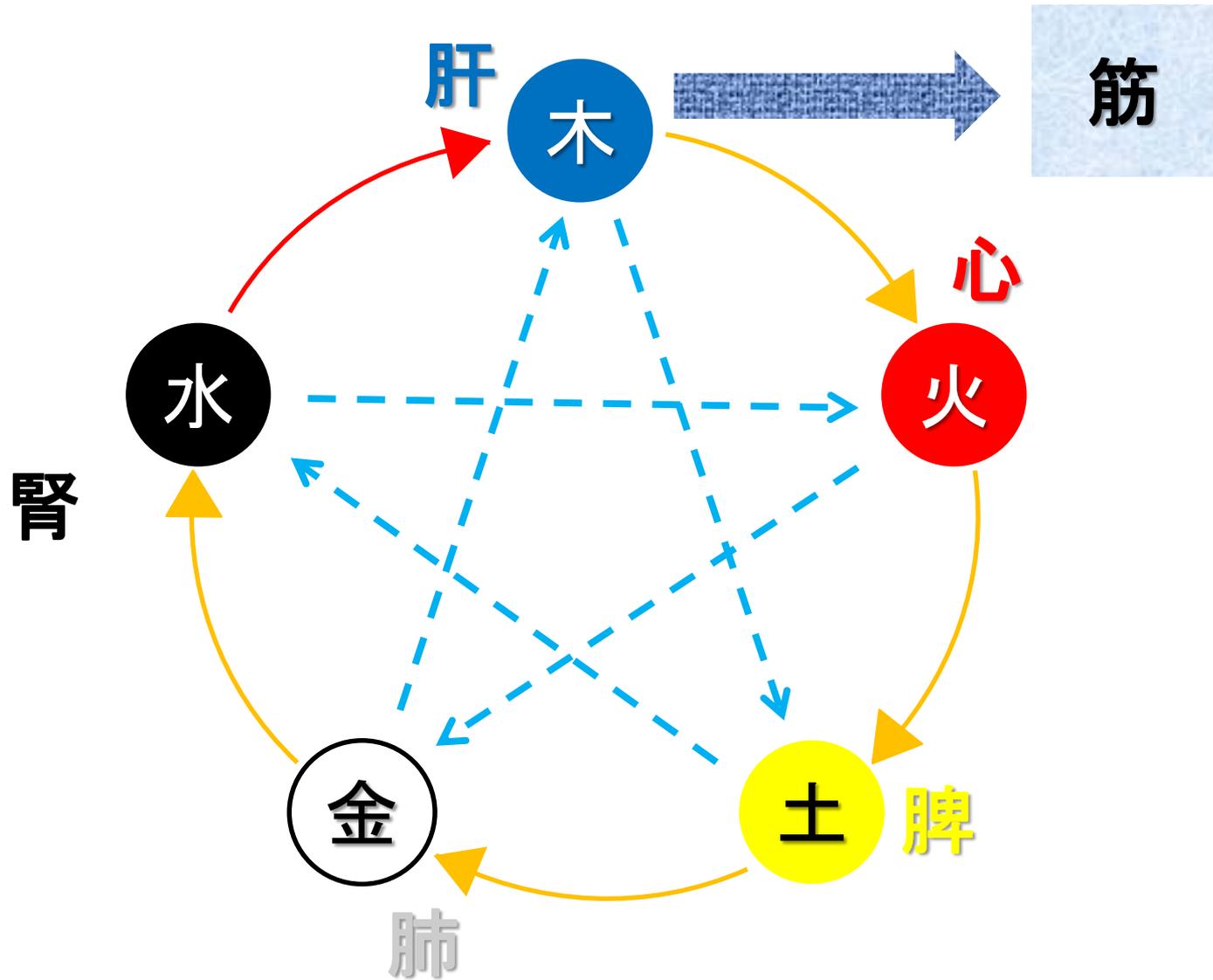
舌候 暗赤色
微白苔あり

腹候

腹力
3/V



腎は肝の母

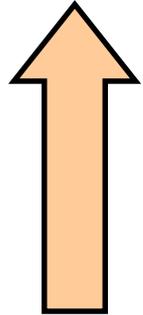


八味地黄丸及びその類方

六味地黄丸



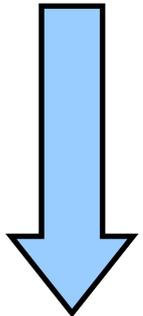
冷えは少ない
皮膚乾燥あり



-

桂皮
附子

八味地黄丸



+

牛膝
車前子

牛膝



車前子



牛車腎気丸



水滯、瘀血症状が強い

症例：45歳・男性

主 訴 手足のしびれ 歩行障害

現病歴

X-1年12月、左精巣腫瘍のため当院泌尿器科にて精巣摘出術を施行。その後肝転移、後腹膜リンパ節転移に対しCisplatin、Paclitaxelを含む化学療法を施行。

X年1月、四肢末端にしびれ感が出現。

同年5月、化学療法が終了し、肝転移巣の縮小、腫瘍マーカーの正常化を認めたが、しびれ感が増悪し部位は次第に上行した。

同年8月、自力歩行が困難となり、車椅子を使用して移動するようになった。泌尿器科でビタミンB12を処方されたが、症状に改善を認めなかった。

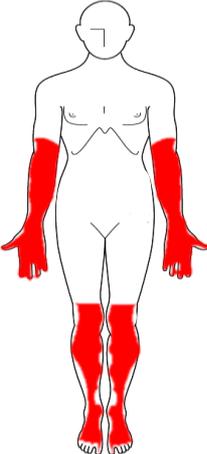
同年9月、当科紹介受診。身体障害者認定1級。

既往歴 25歳：胃潰瘍

初診時の症状・所見

自覚症状

手足が冷えて冷房が苦手 便秘がある
箸や鉛筆が使いにくい 難聴(幼少期より)
夕方足が浮腫む



しびれの範囲

他覚所見

身長 172 cm 体重 45 kg 体温 36.8 °C
血圧 104/60 mmHg 脈拍 87/分・整

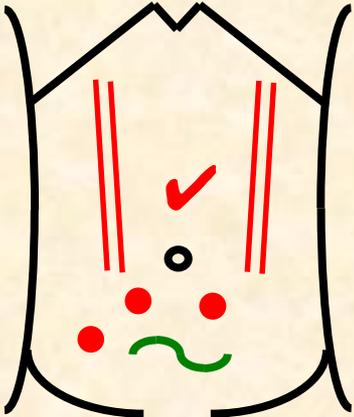
脈候 やや沈 やや虚

腹候

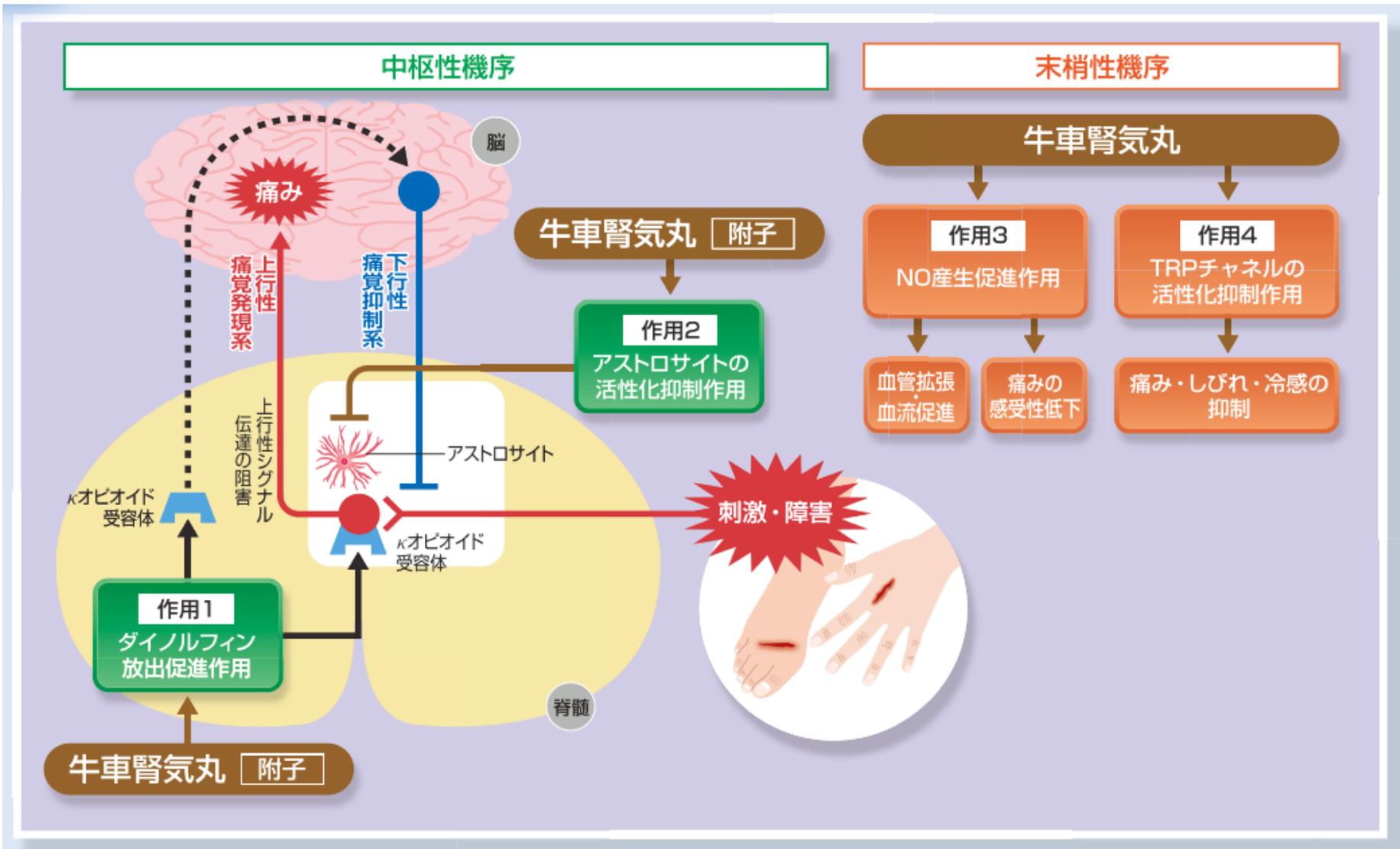
舌候 やや暗赤色
舌尖紅
薄い黄苔あり

腹力
2/V

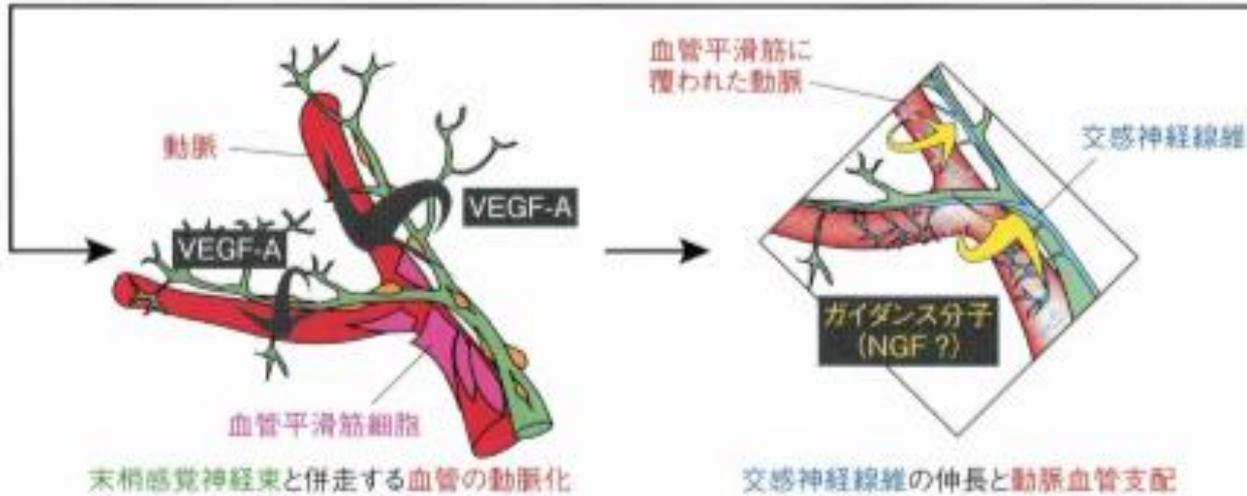
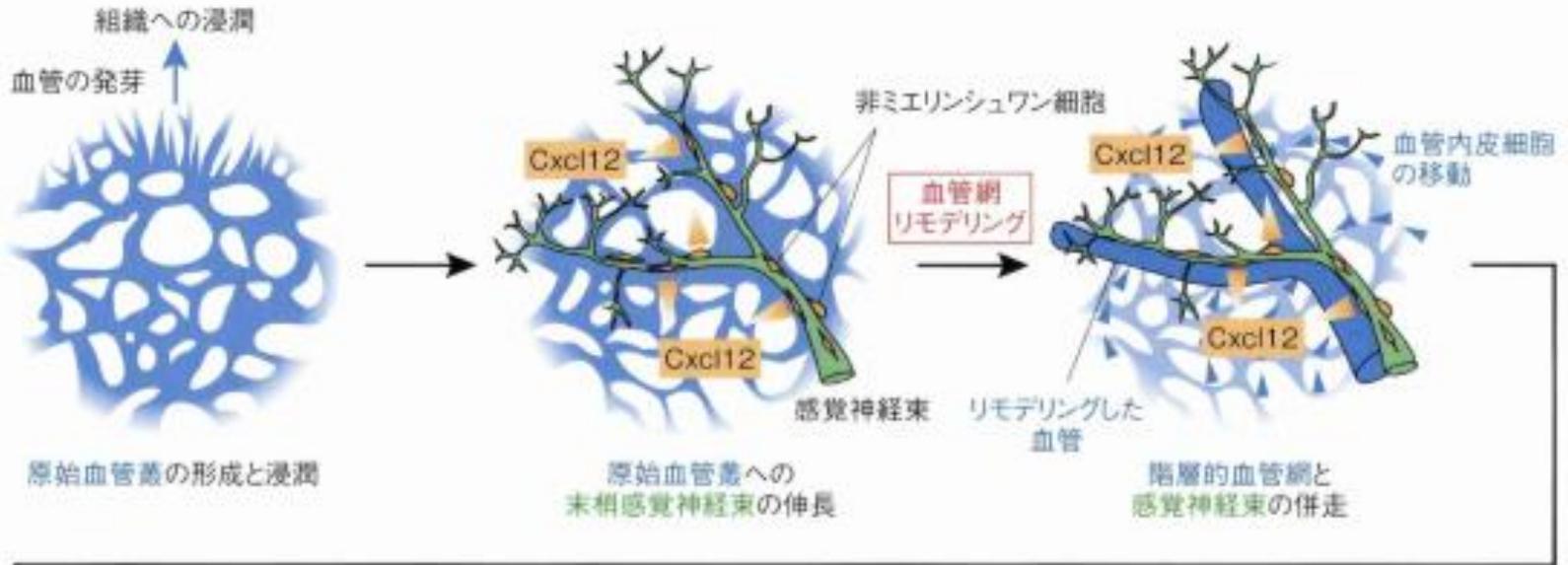
小腹不仁



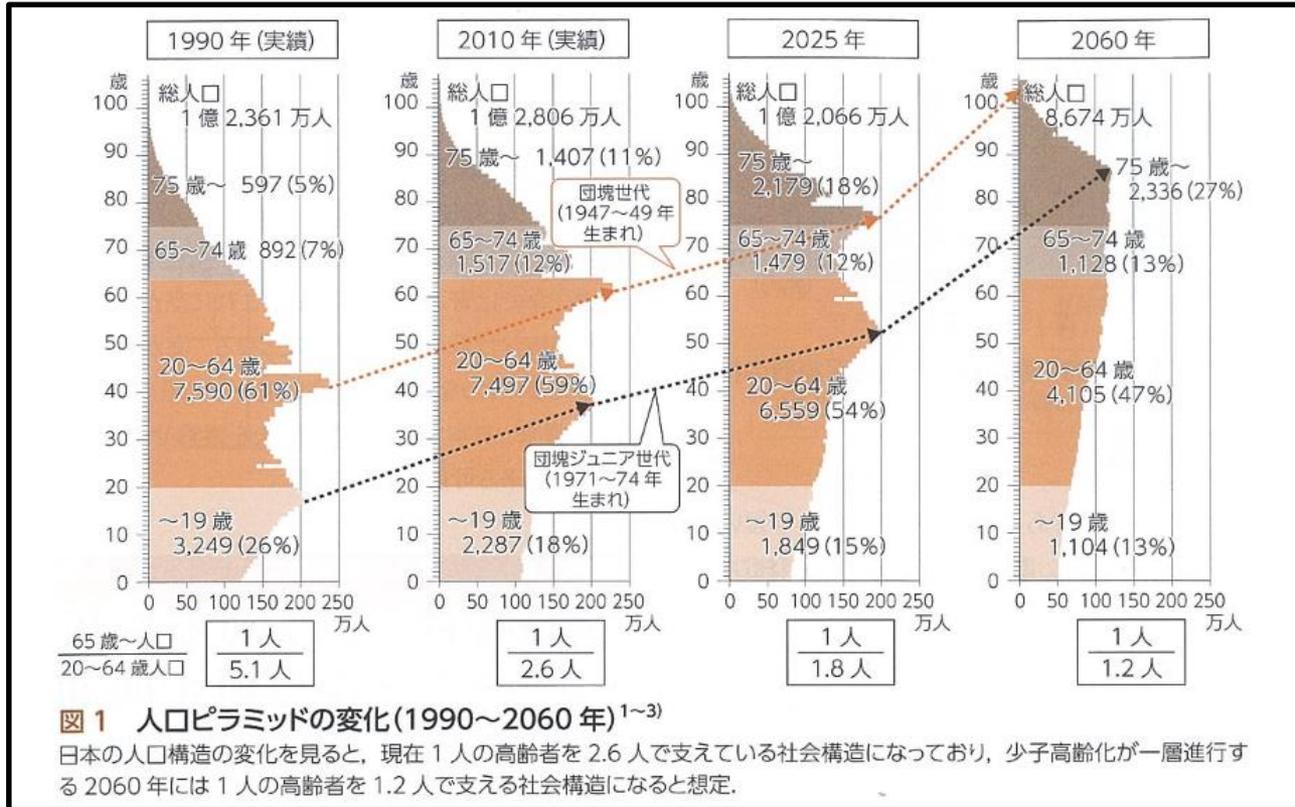
牛車腎気丸の痛み・痺れに対する抑制作用



神経-血管ワイヤリング



日本における高齢社会の推移



💀 現役生産人口の減少: 騎馬戦から肩車へ

💀 税収の減少 そして 高齢者の貧困化(生活保護)

⇒ お金のかかる医療を受ける余裕はなくなってくる

高齢者の特徴



☞ frailty: フレイル

様々な機能変化や予備機能低下により健康障害に対する脆弱性が増加

☞ diversity: 多様性

個人差が大きい

☞ multimorbidity: 多併存疾患

罹患している疾患や病態が単一であることはまれ

⇒ polypharmacy

高齢者に対する漢方治療の特色と意義

- ➡ 補剤で抗病反応を高め、生体機能を賦活化する。
⇒ 足りないものを補う(補法)という考え方がある
- ➡ 予防的な治療が可能(未病)。
- ➡ 個人差に配慮した治療が可能(同病異治)。
- ➡ 漢方薬を併用することで医療費が削減される。
- ➡ 様々な自覚症状と他覚所見により「証」を決定する。
⇒ 複数の症状に一つの漢方薬で対処(随証治療)
⇒ 西洋医学的治療を補完し、polypharmacyに有用

症例：58歳男性・気管支喘息

- 42歳時に発症
- 毎年12月~4月：発作が頻発し救急外来受診
- 年に1~2回は発作や肺炎で入院

初診時の処方

フルチカゾン (200) 1日2回吸入
クレンブテロール塩酸塩 (10) 2T 分2
テオフィリン徐放剤 (200) 2T 分2
エバスチン (10) 1T 分1
エリスロマイシン (200) 2T 分2
ランソプラゾール (15) 1T 分1
プレドニゾン (5) 1T 分1 悪化時

現在の処方

フルチカゾン (200) 1日1回吸入
柴胡桂枝湯 3P 分3
八味丸M 60丸 分3
麻黄附子細辛湯 2Cap 分1 屯用

2018年6月13日 (水)

B! 0

いいね! 7

ツイート

- ◆先日開かれた第69回日本東洋医学会学術総会の一般演題で、漢方薬処方のポリファーマシーに関する報告を地野充時氏（千葉中央メディカルセンター）が行った
- ◆地野氏は初診時に、他院の4科から各1種類の漢方薬、薬局から勧められて購入した2種類の計6種類の漢方薬を服用している患者を経験。漢方薬でも過剰な処方、服用が行われている現状があることを指摘。関連薬局の調査でも漢方薬が2方剤以上処方されているケースが約10%あったという
- ◆漢方ポリファーマシーの問題点として、病名漢方的に処方される場合、伝統医学的に反対の方剤を同時に服用するケースもあり、漢方治療の方向性が不明瞭になると指摘。構成生薬の重複による副作用も上昇する危険性もあるという
- ◆近年、多くの医師が漢方薬の処方経験があるとされ、専門医でなくとも病名漢方として気軽に処方されている。今後、医師が有効、安全な漢方治療を行うためにも、調剤する側の薬局薬剤師も漢方薬ポリファーマシーを抑制できるだけの知識習得が必要になりそうだ。

漢方薬polypharmacyを減らすための対策

- ☯ 服用薬の確認
薬剤師との連携 ⇒ お薬手帳の活用
OTC用漢方薬、通信販売 / ネット販売にも注意
- ☯ 漢方専門医による治療：餅は餅屋に
病病連携、病診連携で漢方治療を集約
- ☯ 正しい漢方医学・薬学教育を
⇒ 最初は一方剤で治療する努力をする
- ☯ 製薬会社でも対策を検討